

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化 年間授業計画

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～E組

使用教科書：（桐原書店「探求 言語文化」）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
古文入門 「児のそら寝」〈宇治拾遺物語〉 【知識及び技能】 言葉の単位、歴史的仮名遣い、古語辞典の引き方 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の関係性や身分を知り、それが児の行動に影響していることに気づく。 省略されている助詞や主語を補いながら、文章を読み取る。 児の刻々と変化する心情を読み取り、最後の僧たちの笑いが起こった理由について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の文章に慣れるとともに、現代にも通じる人々の心情や人間描写の巧みに着目し、古典作品の世界に親しむ。	・現代文法と比較しながら、基本的な言葉の単位を確認させる。 ・歴史的仮名遣いの規則を理解させる。 ・古語辞典の引き方を知り、古今異義語に留意させながら、実際に引かせて習熟させる。 ・文中の児の心中語を抜き出させ、心情の変化を読み取らせる。 ・児の心情変化がどのような事情によるものかを、身分や当時の食生活に照らし合わせて考えさせる。 ・教材：語句プリント、演習プリント、文法書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 古文における言葉の単位、歴史的仮名遣いの規則、古語辞典の引き方を理解している。 【思考・判断・表現】 助詞を手がかりにして心中語を探し、登場人物の言動とそれに対する反応を読み取れている。 児の心情の変化の背景にある当時の身分制度を考え、僧たちが笑った理由を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 出典の成立年代、ジャンルを知ったうえで、異なる時代の文学と現代の共通点、相違点を考えながら、説話文学に関心を持っている。	○	○	○	5
古文入門 「検非違使忠明のこと」〈宇治拾遺物語〉 【知識及び技能】 単語の分類、品詞、活用形の理解 【思考力、判断力、表現力等】 単語の分類基準に従ってそれぞれの品詞の違いを理解する。 活用形の種類と見分け方を知り、本文中の語の活用形を識別できる。 省略された主語を考えて補いながら、本文の内容を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 品詞の区別・活用について理解することによって、古文を文法的に分析して理解しようとする視点を養う。	・単語の分類基準と品詞の関係を体系的に把握させる。 ・それぞれの活用形の性質を確認させ、文中での活用形の見分け方をドリルを通じて習得させる。 ・説話というジャンル独特の文体を踏まえて、内容や展開を的確に捉えさせる。 ・教材：語句プリント、演習プリント、文法書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 単語の分類、品詞、活用形の見分け方を理解している。 【思考・判断・表現】 古文の文章中の単語の品詞や活用形を習得した知識を活用し、見分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 品詞の区別・活用形の用法を理解し、古文を文法的に分析して理解しようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
1学期 古典文法（用言） 【知識及び技能】 動詞、形容詞、形容動詞の活用と用法、活用の種類の理解 【思考力、判断力、表現力等】 規則に則って、用言を正しく活用させ、活用の種類を見分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 動詞、形容詞、形容動詞の用法を知り、用言の体系を理解する。	・動詞・形容詞・形容動詞の活用と用法を理解し、反復練習によって使いこなせるようにさせる。 ・教材：演習プリント、文法書、ICT教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 用言の特徴を理解し、それぞれの活用のしかたや活用の種類について理解している。 【思考・判断・表現】 筋道を立てて考え、活用の種類を見分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 動詞、形容詞、形容動詞の用法を知り、用言の体系を理解しようとしている。	○	○	○	7
随筆と日記 「つれづれなるままに」 「ある人、弓射ることを習ふに」 〈徒然草〉 【知識及び技能】 用言の演習、係り結びの理解 【思考力、判断力、表現力等】 古典を代表する思索的な随筆に触れ、作品の背景にある筆者の批判的精神を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 限代にも通じる教訓的な内容を理解し、筆者の来歴や人物像を考える。	・用言を総合的に用いることができようように演習させる。 ・係り結びの法則の基礎を理解し、文章の中に見だし、その効果について考える。 ・教材：語句プリント、演習プリント、文法書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 用言を広く理解し、文章読解に役立てられているか。 【思考・判断・表現】 語句や文法に留意して筆者の主張を正確にとらえられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の他の章段も含めて、出展作品に関心をもって、その来歴・人物像を根拠をもとに考えようとしているか。	○	○	○	5

	<p>漢文入門 「漢文の基礎」 故事成語 「推敲」「朝三暮四」 【知識及び技能】 漢文訓読の基礎、返り点の読み方・使い方の理解 否定形・疑問形の句法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の基礎に基づき、格言の意味や故事成語の由来を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文と日本文化とのつながりについて考える。</p> <p>定期考査</p>	<p>・訓読と返り点の基礎、漢文特有の文字の使い方を身に付けさせる。 ・訓読文を書き下し文に直す、また書き下し文を見て、白文に返り点を打てるように練習させる。 ・故事成語のなりたちを読み取らせる。</p>	<p>【知識・技能】 漢文訓読の方法と、返り点の使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】 有名な格言、故事成語の由来を正しく読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文の基礎に基づき、有名な漢文の格言や故事成語を通じて、漢文と日本文化のつながりに関心を持って考えようとしているか。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>随筆と日記 「門出」「帰京」(土佐日記) 【知識及び技能】 助動詞・接続助詞「ば」用法の理解 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や助詞の用法、当時の習慣に注意しながら、旅立ちと帰京にまつわるエピソードを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文学の特徴を知り、作者の帰京時の心情について考える。</p>	<p>・主要な助動詞と助動詞の用法を説明し、本文を正確に読み取らせる。 ・本文の背景となる当時の習慣を紹介し、本文に対する理解を深めさせる。 ・作者と作品の文学史上の位置づけを整理させる。 ・帰京時の描写から作者の心情を読み取らせる。</p>	<p>【知識・技能】 主要な助動詞と助詞を理解できているか。 【思考・判断・表現】 当時の習慣を参考にしながら、本文中の出来事を正確に読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 帰京時の作者の心情、亡くした子どもへの思いについて考えようとしているか。</p>	○	○	○	8
	<p>史伝 「鶏鳴狗盗」 【知識及び技能】 受身形・使役形・願望形の理解 【思考力、判断力、表現力等】 句法や語彙に留意し、本文を正確に読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文と日本文化とのつながりについて考える。</p> <p>定期考査</p>	<p>・訓読と返り点の基礎、漢文特有の文字の使い方、句法を身に付けさせる。 ・訓読文を書き下し文に直す、また書き下し文を見て、白文に返り点を打てるように練習させる。 ・故事成語のなりたちを読み取らせる。</p>	<p>【知識・技能】 漢文訓読の方法と、句法を理解しているか。 【思考・判断・表現】 故事成語の由来を正しく読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文の基礎に基づき、有名な漢文の格言や故事成語を通じて、漢文と日本文化のつながりに関心を持って考えようとしているか。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>物語と軍記 「東下り」(伊勢物語) 【知識及び技能】 助動詞・和歌の修辭の理解 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞の用法に注意して本文を正確に読み取らせる。 和歌の修辭技法を理解し、物語の中で和歌が何を伝えようとしているかを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の人々の生活の中で和歌が果たしていた役割について考える。</p>	<p>・主要な助動詞の用法を説明し、本文を正確に読み取らせる。 ・主人公のモデルとされる人物を紹介し、主人公が旅に出た事情について理解を深めさせる。 ・作品の文学史上の位置づけを整理させる。 ・和歌を含めた物語世界を鑑賞させる。</p>	<p>【知識・技能】 主要な助動詞と和歌の修辭技巧を理解できているか。 【思考・判断・表現】 和歌に表現された心情を考えながら、本文を正確に読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 和歌が当時の人々にとってどのようなものであったかを考えようとしているか。</p>	○	○	○	8
<p>近代の小説 「羅生門」(芥川龍之介) 【知識及び技能】 物語の時代的背景、原典との違いについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 出来事を時系列で読み取り、表現の工夫とその効果、主人公の心情に注目する。 【学びに向かう力、人間性等】 原典との読み比べを通じて、作者が何を描こうとしていたのかを考察する。</p>	<p>・作者の文学史的事項を整理させる。 ・古典分野の知識を手がかりに、作品の時代的背景を把握させる。 ・表現とその効果を考えさせながら、主人公の心情の変化を読み取らせる。 ・原典と作品を比べさせ、作者が描こうとしていたテーマについて考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 作者と作品の背景を理解できているか。 【思考・判断・表現】 時々刻々と変化する主人公の心情を正確に読み取れているか。 随所に凝らされた表現上の工夫に気づき、その効果について考えようとしているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品のテーマについて関心を持って考察しようとしているか。</p>	○	○	○	8	
<p>詩文 漢詩「絶句」「送元二使安西」「送友人」「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」 【知識及び技能】 漢詩の詩形・押韻・対句の理解 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩のきまりを踏まえて詩に読まれた心情や風景を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩から時代や文化が異なっても共通する心情や風景への思いを考える。</p> <p>定期考査</p>	<p>・漢詩のきまりを理解させる。 ・漢詩の表現がもたらす効果に留意しながら詩の主題を読み取らせる。 ・漢詩作品から限代にも通じる心情や思いを考えさせる。</p>	<p>【知識・技能】 漢詩のきまりを理解できているか。 【思考・判断・表現】 漢詩の表現の特徴とそれぞれの詩の主題を把握できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢詩に詠まれた主題から限代に通じるものを見いだそうとしているか。</p>	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>物語と軍記 「かぐや姫の嘆き」(竹取物語) 【知識及び技能】 助動詞・敬語の理解 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞の用法に注意して本文を正確に読み取らせる。 登場人物の関係に注意し、敬語の種類や敬意の方向を正確に判断する。天人と人間の対比を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 かぐや姫の人物像について考え、伝奇物語の特徴を把握する。</p>	<p>・主要な助動詞と敬語の用法を説明し、本文を正確に読み取らせる。 ・天人と人間の言動から、天人と人間の描かれ方の違いに注目させ、月の世界の特殊性を読み取らせる。 ・かぐや姫の人物像を考えさせ、伝奇物語の特徴を捉えさせる。</p>	<p>【知識・技能】 主要な助動詞と敬語を理解できているか。 【思考・判断・表現】 月の世界と人間世界の対比を読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 伝奇物語の登場人物の人物像について関心をもって考えようとしているか。</p>	○	○	○	7
	<p>詩文 文章「雑説」 【知識及び技能】 部分否定・反語形の理解 【思考力、判断力、表現力等】 句法に注意しながら文章の論理を正確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な比喩を通じて筆者が主張しようとしていることについて考える。</p>	<p>・句法を説明し、本文の論理を順を追って読み取らせる。 ・指示語が指す内容を確認させる。 ・本文の寓話としての側面を理解させ、筆者の主張を考えさせる。</p>	<p>【知識・技能】 句法を理解できているか。 【思考・判断・表現】 比喩を用いた論理を正確に読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 寓話を用いた筆者の主張について、関心を持って考えようとしているか。</p>	○	○	○	7
	<p>物語と軍記 「木曾の最期」(平家物語) 【知識及び技能】 助動詞・音便・敬語の理解 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物とその関係を把握する。 助動詞や敬語に注意しながら、物語の展開と人物の心情の変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の武士の思想、主従のあり方について考える。</p>	<p>・主要な助動詞・音便・敬語を説明し、物語の展開を正確に読み取らせる。 ・登場人物の関係を整理させ、それぞれの言動から心情の変化を読み取らせる。 ・貴族とは異なる武士の生き方・考え方について考えさせる。</p>	<p>【知識・技能】 主要な助動詞・音便・敬語を理解できているか。 【思考・判断・表現】 登場人物を整理し、それぞれの心情を正確に読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 軍記物語に描かれた武士の生き方・考え方について、関心を持って考えようとしているか。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 70